

経営発達支援計画の概要

実施者名	高陽町商工会
実施期間	平成27年 4月 1日～平成30年 3月31日
目標	<p>高陽町商工会の管轄する地域は、大規模住宅団地の開発と共に発展してきた。その中で小売・飲食業は、住民の増加に呼応して、出店数、売上とも急速に拡大した。しかし、開発から40年余りが経過し、住宅団地の高齢化は、小売・飲食業の衰退を招き、空き店舗の増加は、街の活力低下に繋がっている。一方、当地域には、健康志向が高く高所得水準の高齢者世帯や広島市中心部まで10km程度に位置し、生活に必要なインフラが整っていることからファミリー世帯が多いという外部環境がある。新たなサービスやターゲットの絞込み、ターゲットに合わせた店づくり、商品構成、販売方法など個別小売・飲食業者の経営力の向上と環境対応能力の向上により小売・飲食業の活性化を図る。</p> <p>また、起業をめざす女性・若者・アクティブシニアが多数存在することから、創業希望者の支援を強化し地域に新たな風をおこす。</p> <p>白木地区で栽培されるフレッシュ葉物野菜は、地元野菜として、管内の小売・飲食業が取り扱うことで、お店は、地産地消の店として他店との差別化を図ることができ、生産者は、安定供給と安定した収入のしくみの構築に繋ぐことができる。</p> <p>以上の方針をもって下記の目標を設定し事業を推進する。</p> <p>(1) 個別小売・飲食業者の経営力の向上をめざす。 (2) 女性・若者・アクティブシニアの創業支援を強化する。 (3) 小売・飲食業(特に飲食業)において、白木地区で生産されるフレッシュ葉物野菜の利用を促進し「地産地消の店」として差別化を図るとともに、白木産「フレッシュ葉物野菜」としてブランド化を推進する。</p>
事業内容	<p>(1)地域の経済動向調査に関すること 商圏分析レポート等のデータを取得分析し、地域の経済動向を調査する。その情報は、経営指導員が巡回・窓口指導時に提供する。</p> <p>(2)経営状況の分析に関すること 小売及び飲食業会員事業所からそれぞれ10%程度をピックアップして、保有経営資源等の調査を行う。「我が社の健康診断セミナー」を開催し、自社の経営分析を行い、経営課題を抽出する。</p> <p>(3)事業計画の策定支援に関すること 事業計画策定セミナー・巡回窓口指導時に事業計画策定の必要性を説き、内部環境及び外部環境分析の結果を踏まえて、中小機構、よろず支援拠点、日本政策金融公庫等と連携し事業計画作成支援及び補助金申請支援を伴走型で行う。また、創業塾を開催し女性・若者・アクティブシニアの創業を積極的に支援する</p> <p>(4)事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画策定後は、経営指導員が定期的に巡回し進捗状況を確認するとともに必要な指導・助言・情報提供を行うほか、国・地方自治体の支援策を周知し、フォローアップを行う。創業者には、「こまりごと相談会」を開催し経営指導員が伴走型支援を行う。</p> <p>(5)需要動向調査に関すること 巡回窓口指導を利用して、小規模事業者が取扱う商品売上ランキング等の調査を行うほか、消費者へ対し購買動機等のアンケート調査を実施して需要動向を分析する。</p> <p>(6)新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 白木産葉物野菜の利活用を推進するため、小売・飲食業者と生産者の交流会を開催するほか、SNS等を活用し情報発信を行う。飲食店マップを制作し地域内へ配布する。</p> <p>(7)地域経済の活性化事業 11月の『こうよう・しらき産直市』に小売・飲食業者の出展を募り、ブースにおいて、各社自慢の加工品をPR販売し地域活性化を図る。白木地区へフレッシュ葉物野菜及び小規模事業者の取扱う商品等のPR販売を行う情報発信拠点施設「道の駅」の開設に向けた検討を開始する</p>
連絡先	<p>●高陽町商工会 〒739-1751 広島県広島市安佐北区深川5丁目21番21号 TEL (082) 842-0186 FAX (082) 845-0939 ホームページアドレス http://www.koyo-shokokai.com</p>